

防災NEWS



火災の発生しやすい季節です

空気の乾燥や、暖房器具を使う機会が多くなることなどから、火災が非常に発生しやすくなります。ひとたび火災が発生すると、乾燥した風により、広範囲に延焼するおそれもあります。

日頃から次の点に注意するようにしましょう。

- ・タバコの火は、水に濡らして完全に消火してから吸い殻を捨てるようにし、寝タバコは絶対にやめましょう。
- ・外出時や寝る前には、毎回火の元を確認しましょう。コンロのそばから離れるときは、必ず火を消しましょう。
- ・コンセントにほこりがつかないように掃除するなど、定期的に点検を行いましょう。
- ・家や暖房器具などの周りに、燃えやすいものを置かないようにしましょう。
- ・子どもの火遊びに注意しましょう。火災の恐ろしさや火遊びの危険性を、日頃から教えておくことも大切です。

問合せ先 役場 防災危機管理課 内線 151・152

防災豆知識～備蓄について～

災害が起こると、ライフライン復旧まで1週間以上を要するケースが多くみられます。また、災害支援物資が3日以上到着しないことや、物流機能の停止によって、1週間はスーパーマーケットやコンビニなどで食品が手に入らないことが想定されます。

こうした事態で困らないためには、家庭で備蓄品の用意が大切です。次のポイントに気をつけて、日頃から災害に備えましょう。

●ポイント1

食料や水、生活必需品などは最低3日分、できれば1週間分備えましょう。

●ポイント2

突然の避難に備え、発災当日に必要な最低限の飲食物や日用品などは非常持ち出し袋に入れてすぐ持ち出せるようにしておきましょう。

●ポイント3

消費期限がある備蓄品は定期的に期限が切れていないか忘れずチェックしましょう。普段より多めに食品・日用品を買い置きしておくローリングストックという方法も有効です。

●ポイント4

必要なものは各家庭で異なります。ペットや乳幼児のための備蓄品、持病がある場合は、常備薬やお薬手帳(災害時、医薬品の処方に活用できる場合があります。)など、自分に必要な備蓄品・非常持出品を揃えましょう。

●ポイント5

お湯を沸かせると災害時の食の幅が広がります。カセットコンロなど、熱源の確保も心がけましょう。

問合せ先 役場 防災危機管理課 内線 151

●防犯情報 ●防災情報 ●行政情報 ●防犯情報 ●防災情報 ●防犯情報 ●防災情報 ●行政情報 ●防犯情報 ●防災情報 ●行政情報 ●防犯情報 ●防災情報 ●気象情報 ●地震情報 ●津波情報



登録は2次元コードを読み取り、oharu@entry.mail-dpt.jpへ空メールを送信してください。

●気象警報・避難情報などの緊急情報をすばやくお届けします!

●登録は簡単で、利用料は無料です!

※メールの受信に係る通信料などは利用者のご負担となります。

●欲しい情報を選択して受け取ることができます!

問合せ先 役場 企画政策課 内線163

●防犯情報 ●防災情報 ●行政情報 ●防犯情報 ●防災情報 ●防犯情報 ●防災情報 ●行政情報 ●防犯情報 ●防災情報 ●行政情報 ●防犯情報 ●防災情報 ●気象情報 ●地震情報 ●津波情報